

# 第18回CLC大阪サロンのお知らせ

「はじめること！かかわること！見えたこと！」

ゲストスピーカー

社会福祉法人至善会 蒲生の家（小規模デイサービスセンター）

施設長 兼 生活相談員

ケアプレーヤー・主任

瀬川 雅和さん

大串 寿子さん

大阪市城東区の閑静な住宅街の中に、7月1日、平屋の民家を改築した小規模デイサービスセンター「蒲生の家」がオープンしました。

第18回CLC大阪サロンでは、蒲生の家の施設長兼生活相談員の瀬川雅和さん、ケアプレーヤー・主任の大串寿子さんをゲストにお迎えします。蒲生の家の開設秘話、地域とのかかわり、そして大規模施設では見えなかった利用者への気づき、響きあい。通って、必要ならお泊まりもできる蒲生の家。糠漬けづくりなど、日常のちょっとした出来事にも気を配り、そこで過ごすことを楽しんでいます。

第18回サロンは、蒲生の家の見学とおいしい夕食つきです。テーブルを囲み、利用者の視線から、部屋や人を見渡してみましょ。きっと何か新しい発見があるはずです。

日 時：平成16年10月19日（火） 18時30分～20時30分

会 場：蒲生の家（小規模デイサービスセンター）

大阪市城東区蒲生4丁目11-17（地下鉄蒲生4丁目駅 番出口より南西徒歩約5分）

参加費：会員1,700円 一般2,000円（夕食代500円込み・会員価格は1会員様に対し1名様のみ有効）

定 員：20名（先着順・定員になり次第締め切ります）

申 込：Fax：06-6466-3740 または e-mail：clc-osaka@clc-japan.com で、下記の申込書をお送りください。なお、電話：06-6466-3740 へのお問い合わせは、月・木・金にお願いいたします。

主 催：NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）大阪

全国コミュニティライフサポートセンター（略称 CLC）は、“誰もが地域で普通に”暮らせる地域社会を目指して1999年に発足したNPOです。2001年2月に法人化した後も、子ども、障害者、高齢者分野を問わず新たな挑戦をしている全国の取り組みを紹介しながら各地でネットワークづくりを進めてきています。大阪事務所は5つ目の拠点となります。

申込者				
住 所	〒			
電話番号	( ) -		Fax 番号	( ) -
勤務先（所属）			書籍注文	のぞみホーム / 中津発新ふくし事情
交流会 如後約2時間	出席・欠席（会費約2000円）		ご入会頂いている ものがあれば 印	JUNTOS / 宅老所グループホーム全国ネットワーク 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 / CLC

## 講師プロフィール

### 瀬川 雅和 (Masakazu Segawa)

この蒲生の家のある蒲生町で昭和 30 年に生まれる。長野大学社会福祉学科卒業後、一般企業へ勤めるも、39 歳のとき学生時代同居していた友人の死から福祉の世界に帰ることを決意し、平成 9 年から在宅介護支援センターのソーシャルワーカーを 3 年経験し、現法人の至善会へ移り統括ディレクターという役職で特養に関わる。生活の無いホームの中で死んでいくお年寄りとの別れに疑問を感じている中、万葉苑の故小寺一隆氏と出会い、大いに刺激を受ける。お年寄りの「生活の継続は」また、「人生の継続は」を考えることで、地域の中にある家を創りたくなった。そのスタートが「蒲生の家」となる。今後この家がどのように進化していくかを自分自身期待している。

### 大串 寿子 (Hisako Ogushi)

佐賀県出身、21 才の時大阪に出て、車好きから大型免許をも持つ。トラックの運転手になるのかと思いきや平成 11 年より福祉の世界へ志す。4 年間の特養介護職を経験し、そのコミュニケーションセンスを活かし、お年寄りとの会話は「元気が出るトーク」と言わしめる。特養主任を経て、1 年在宅ホームヘルパーに携わり、現在に至る。特養では走り回っていたが、この蒲生の家ではお年寄りに寄り添っていることで動けなくなったため、近頃太った事が悩み。

## CLC 大阪サロンは『地域との共生を考える』がテーマです

### 第 17 回 CLC 大阪サロンミニレポート

サロンの様子は CLC 刊行隔月誌「JUNTOS」でもご紹介しています

第 17 回 CLC サロンは「薬物依存から回復支援者へ～地域でどう支えるか」と題し、Freedom コーディネーター、大阪 DARC ピアカウンセラーの倉田めばさんにお話を伺いました。

薬物依存の当事者としてもがき苦しみ、薬物をやめる方法をずっと模索してきた倉田さん。ある日、ふとしたきっかけで同じような悩みを持つ人たちが集まるセルフヘルプグループとの出会いにつながります。そして、薬物をやめ続けている今では、かつての自分と同じように苦しむ仲間たちの集いの場を開設、その手助けをしたり、予防教育のための学校などでの講演会活動や、薬物依存で苦しむ家族の支援を行っています。

倉田さんの人生を振り返りながら、力強い叫びが聞こえてくる内容でした。制度や人の手、援助がなかなか差し伸べられることのない薬物依存という問題の本質には、今、自分がかかわったり悩んだりする問題と、同じものが流れているのかもしれない。(E)

### 第 19 回 CLC 大阪サロン予告 今度は京都

第 19 回 CLC 大阪サロンは、11 月中旬に京都市内で開催予定です。詳細は楽しみにお待ちくださいませ。

### 今月のこんなところで書籍案内

#### 「小規模多機能ホーム のぞみホームの静かな力」

奥山久美子著 / A5 判 / 222 ページ / 1,890 円

年をとっても、住み慣れた地域でずっと暮らしていきたい。簡単そうで難しい私たちの望み。今もっとも注目されている「小規模多機能ホーム」のお年寄りに寄り添う介護からみえてくる、一人ひとりのかけがえのない人生、個人にとって必要な時間と暮らしをご紹介します。

#### 「別冊 Juntos 福沢諭吉の里 おおいた中津発 新ふくし事情」

「これからの地域福祉を考えるセミナー in 中津」実行委員会 編 / B5 判 / 64 ページ / 1,000 円

たとえ、障害があっても、年を重ねても、大好きなまちで自分のライフスタイルを貫きたい、それまでと同じ暮らしを続けたい、と願う人は多いはず。今回は、大分県中津市にスポットを当てて、自分たちが安心して暮らせるまちにするために、住民自身が取り組むさまざまな活動を丸ごと 1 冊分紹介。

書籍は CLC サロン当日、会場でも販売しております。ご注文・お問い合わせは、社会福祉法人青いりんごの会 銀河ステーション (CLC 九州) Tel : 0968-86-6333、Fax : 0968-86-5558 まで。

新刊！！